海外体験記

モンゴルでの民族薬物調査

薬科学教育部 創薬科学専攻 生薬学分野
博士後期課程1年
栗本 慎一郎
（くりもと しんいちろう）

２０１１年８月９日から23日までの２週間、モンゴルでの伝統薬物調査に参加させていただきました。伝統薬物調査とは、医療の近代化により失われつつある、その地方や民族に固有の伝承薬や民間薬の情報を集めて記録する調査です。伝統薬物は長年の経験に基づいて使用されており、新たな医薬品となりうる成分を含んでいる可能性が高いことから我々の研究室では新たな医薬品の創製を目指し、伝統薬物として用いられている植物の成分を研究しています。徳島大学はモンゴル健康科学大学と協定を結んでおり、モンゴル健康科学大学の薬学部長を含む先生３名、大学院生１名にも同行して頂いて調査を行いました。

モンゴルといえば草原が広がり遊牧が行われているというイメージですが、首都のウランバートルは建物が立ち並び、人と車で溢れていました。建物や道路などの建設も盛んに行われており今まさに成長中の国というのを強く感じました。しかし、調査のため首都から離れるとそこには広大な草原が広がっており、見渡す限りの地平線、夕焼けや朝焼けに染まる草原、満天の星空など日本では見ることのできない自然美に大変感動しました。

また調査中は主にゲルと呼ばれる木製の枠組みとフェルトで作られたモンゴルの伝統的な移動式住居に宿泊しました。中央に薪ストーブ、壁際にベッドが置かれているだけの簡素な住居なのですが中は意外に過ごし易く調査が進むにつれ、ホテルよりもゲルの方が過ごしやすいと感じるようになっていました。ゲルでは夜にモンゴル側のメンバーと一緒に集まって互いの国の文化について話したり、歌を歌ったりして交流しました。

調査中は苦労もたくさんありました。移動は車でしたが舗装されている道がほとんどなく、雨が降った際に車がぬかるみにはまって中々抜けられなくなったり、大量の雹が降って立ち往生したりもしました。また、夜に宿泊地へ向かう途中に橋が見つからないため仕方なく川を車で渡った際にはずいぶん怖い思いもしました。他にも日本とは大きく異なる生活環境に戸惑うことや苦労することが多々ありましたが、今回の調査に参加したことで肉体的にも精神的にもタフになることができたと思います。また、研究材料となる植物をたくさん集めることができたので、これらの研究に着手できる日が待ち遠しいです。

最後に今回このような機会を与えてくださった本学薬学部生薬学研究室の高石喜久教授、柏田良樹准教授に心から感謝し、お礼申し上げます。

留学生滞在記

私の目から見た日本

総合科学教育部 地域科学専攻 地域創生分野 博士前期課程2年
烏　尼尓［中国］
（ウ ニル）

友達と眉山の山頂で記念撮影（著者左）

私は中国の内モンゴル自治区出身で、２００９年の４月に来日しました。内モンゴル自治区は内陸なので海がなく、日本に来てはじめて海を見てびっくりしました。中国の文化や習慣と大きな違いがありましたが、すぐにやさしい日本人ときれいな日本が好きになりました。

日本に来て気づいたのは、日本人は相手の気持ちを考えながら相手を傷つけないように言うことです。中国人は自分の意見をはっきり言います。でも、日本人は何でも相手の気持ちから考えて行動します。それは素晴らしいと思います。また、飲食の習慣も中国と違います。日本人は生もの（刺身など）をよく食べますが、日本に来たばかりの私は生ものは全然食べられませんでした。今はだんだん慣れてきて、少し食べられるようになりました。

徳島に来てもう2年半が経過しました。一番楽しかったことは阿波踊りです。阿波踊りは日本三大踊りのひとつとして有名で、毎年8月12日から15日まで、みんながり色彩豊かな服を着て踊る大きい祭りです。友達と阿波踊りに参加して、日本人と一緒に踊ったり歌ったりして、とても楽しかったです。また、徳島は食べ物がおいしいです。例えば、徳島ラーメン、阿波尾鶏、すだちなどが有名です。

私は、地域科学専攻で地域創生分野の勉強をしていますが、特にモンゴル語と日本語について研究したいと思っています。アルタイ系言語の言語的特徴として、モンゴル語と日本語は、語順のほか、母音調和、語頭に有声音が来ないといった多くの共通性があり、文法体系などにも多く共通点がみられることはよく知られています。日本語や日本の文化について学び、私の母語であるモンゴル語との比較を行いたいと思っています。

日本へ留学したのは、将来通訳になりたいと思ったからです。地元の日本人と接して、日本人の心をもっと知りたい、日本に溶け込んで日本の文化や習慣を学び、日本人の立場から物事を考えるようになりたいと思っています。これからも日本語をさらに深く学んで研究を進めるつもりです。いろいろな実地調査に参加したり、日本の文化や社会言語学的な調査をしたりして、日本人の習慣や生活についてもっと理解したいと考えています。

月見が丘公園にて

上田家のみなさんと

弁天山桜まつりにて